

甲南中学校区における 「市長と語る会」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時:令和3年11月22日(月)18:00~19:00

場所:中洲小学校

令和4年1月
鹿児島市 市民協働課

(別紙)発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	NPO法人 心のバリア フリー仲間	① 東京2020パラリンピック競技大会の開催により、かなりバリアフリーへの関心が高まっているように感じている。2023年に開催される燃ゆる感動かごしま大会で手助けが必要な際には是非、経験豊かな「NPO法人 心のバリアフリー仲間」に声をかけていただきたい。10年以上心のバリアフリーを推進する活動を行っているノウハウを活かすことができると考えている。	① 観光の面でもユニバーサルツーリズムを推進していきたいと思っている。その中で2023年全国障害者スポーツ大会が、より障害者の方々に対する理解、心の距離を縮める大きな契機になると考えている。 いただいた提案は非常にありがたい。全国障害者スポーツ大会は県の方が事務局となっているため、おつなぎしたい。	観光交流局	【観光交流局】 市長回答のとおり。 県全国障害者スポーツ大会課へ、提案内容を12/15にお伝えした。
2	中洲校区 コミュニ ティ協議会	② 中洲校区は生活環境が整っている地域ではあるが、マンションも増えて近所付き合いが希薄化しつつあるのも事実である。その中で「孤立死、孤独死」を心配している。孤立死、孤独死を少しでもなくすために、どのように取り組めばよいか自分たちも考えているところである。「孤立死、孤独死」の定義やどのような取組み、対応が必要か、市長のお考えをききたい。	② 孤立死、孤独死の定義について、本市では「一人暮らしで誰にも看取られずに亡くなり、亡くなってから二日以上経って発見され、市が把握したもの」としている。 孤立死、孤独死を防ぐために、一人暮らしの高齢者や障害者の世帯の方々が緊急通報できることが重要であるので、安心通報システム設置事業を行っている。 また、見る目を増やすことが重要だと考えている。そこで民生委員による見守りサポートの支援や訪問給食事業、民間事業所との連携協定などを進めている。民間業者との連携では、南日本新聞、リビング新聞社、鹿児島相互信用金庫と実際に連携協定を結んでおり、これからもこういった連携協定を進めていくながら、高齢者の方々が孤立することのないよう、市としてもできる限りの取組を進めていきたいと考えている。	健康福祉局	【健康福祉局】 市長回答のとおり。

(別紙)発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	甲南地区 町内会連 絡協議会	<p>③ マンションの町内会費の徴収について、居留守をされるなどの理由から、班長での集金は無理だという現状がある。</p> <p>現在一部の不動産業者の協力を得ているが、その額が年間300万円の町内会費の2割を占めている。これがなければ、思うように町内会の活動を行っていくことは無理である。</p> <p>聞いた話では福岡では90%以上、代理徴収を行っているようだ。一昨年福岡に調査に行った職員から「福岡では行政がやっているのではなく、不動産協会の会長が指示を出してやっている」との報告を受けた。私たち町内会が不動産協会にお願いしても難しいため、行政から不動産協会に働きかけを行って欲しい。</p>	<p>③ マンションの町内会費徴収について、福岡市をはじめ、他都市の先進事例を研究してまいりたい。不動産協会の協力が必要不可欠であると思うので、民間の協会、事業者の協力が得られるよう取り組んでいきたい。</p> <p>どの町内会も運営の様々なところで苦勞されており、それが重くなればなるほど運営のなり手がいないという問題が出てくると思う。町内会で配付していただく文書の絞り込み、町内会費におけるキャッシュレス決済の導入等、負担軽減のための検討を行っていきたい。</p>	市民局	【市民局】 市長回答のとおり。
4	荒田校区 コミュニ ティ協議会	<p>④ 地域福祉館が荒田小校区内にはなく、最寄り甲南福祉館又は八幡福祉館であり、校区内の住民としては身近に利用することができない状況である。避難所として利用したくても遠いため避難をためらってしまう。</p> <p>また、荒田校区内には、鹿児島女子短期大学や各種専門学校が複数あるほか、鹿児島大学が近接しており、地域活動に学生が関わる機会の創出にも取り組んでいることから、若い世代と地域住民の幅広い世代が交流できる場、交流の拠点として校区内に地域福祉館を整備していただきたい。地域コミュニティの維持・活性化のためには、このような活動拠点が不可欠である。</p> <p>なお、整備箇所として県知事公舎の隣地の空き地を活用していただきたい。</p>	<p>④ 地域福祉館は中学校区に1つという整備方針で、市内に41館を整備している。甲南中学校区には甲南福祉館が整備されていることから、あらたな整備計画はないところである。</p> <p>避難所については、第一避難所である八幡福祉館のほか、第二避難所である鹿児島大学（第2体育館）や荒田小学校、八幡小学校が指定されているので、こちらを利用していただきたい。</p> <p>今後の地域コミュニティの拠点としての利用については、財政的な課題もあることから、この地域であればサンエールかごしまなど既存の公共施設をご利用いただきたい。</p> <p>県知事公舎隣地については、県管財課に確認したところ、使用は難しいとのことである。</p>	危機管理局 市民局 健康福祉局	【危機管理局】 【市民局】 【健康福祉局】 市長回答のとおり。

(別紙) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	鹿児島女子短期大学観光研究サークル	<p>⑤ 若者流出率が鹿児島県は高いと言われている。実際私たちの身の回りでも、進学・就職で県外に行った人たちがいる。それは、若者が楽しめる場所がない、新しいものがないということが原因になっていると考えている。なぜ、鹿児島の若者は県外に流出するのか、どのように認識されているか教えていただきたい。</p>	<p>⑤ 若者の県外流出については大きく仕事・子育て・エンタメの3つの原因があると考えている。そのために、まずは鹿児島に稼げる仕事をつくる。これにより、働きたい若者が鹿児島に残ることができる。市外・県外、国外から稼ぐことが重要になるので観光・ITを軸に稼げる仕事をつくっていききたい。</p> <p>第二には教育のレベルを上げることだと考えている。もっとITを活用して、鹿児島にいても東京と遜色ない、もしくはそれ以上の教育を提供できる環境をつくっていききたい。</p> <p>第三には、エンタメの部分だと思っている。ユナイテッドやレブナイズといった地元のプロスポーツチームを普段から見に行ける楽しみをつくっていききたい。</p> <p>これらをそろえて、鹿児島に残りたい若者が残れる、いったん外に出た方が帰ってきたい、帰って来られる環境を作っていききたいと考えている。</p>	<p>産業局 観光交流局 教育委員会</p>	<p>【産業局】【教育委員会】 市長回答のとおり。</p> <p>【観光交流局】 実行委員会の活動において、引き続きホームゲームの集客を集めるための取り組みや選手強化や育成に繋がる練習場の整備を間接的に行い、新規のファン獲得やチーム強化を支援していく。</p>

(別紙)発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	荒田校区 コミュニ ティ協議会	<p>⑥ 地域コミュニティの維持・活性化のためには、町内会活動をはじめ、おやじの会を含む学校PTA活動、あいご会活動、コミュニティ協議会活動などを展開していく必要があるが、地域においては、その担い手確保にたいへん苦慮している。</p> <p>については、市職員においては、町内会への加入は当然のことと思われるが、地域活動への参加はもとより、役員を担う等の積極的な姿勢を求めたい。</p> <p>そもそも市職員も市民である。是非とも、市職員の地域活動への積極的参加を、ただ働きかけるだけでなく、実感できるかたちで進めていただきたい。</p> <p>ぜひ介護休暇などのように、町内会活動休暇のような制度面を整備いただき、働きかけをおこなってほしい。</p>	<p>⑥ 市の職員が率先して地域活動を担うべきというのは私も考えている。職員へ向けた講話の際にも、ぜひ民間の方々と語る場をしっかりと持つように話をしている。これからいろいろな課題を解決していくうえでは、市役所だけでなく、民間の方々と連携して解決していく必要がある。そのためには民間の方々がどうすれば動きやすいのか、動きたいと思うのかを知る必要がある。</p> <p>市では町内会の役員などの活動に対する休暇制度を設けており、来年度からはより使いやすくするために時間単位での取得を認める方向で検討しているところである。市職員に制度の紹介を含め、取得を推奨していきたいと思う。</p>	総務局 市民局	<p>【総務局】 市長回答のとおり。</p> <p>【市民局】 市職員も市政に携わる一員として、また、地域社会の一員として、町内会活動に率先して参加するよう要請する。</p>

(別紙)発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	中洲校区 コミュニ ティ協議会	<p>⑦ 東京オリンピックでの選手の活躍もあり、鹿児島市の小学生もスケートボードに興味を示す児童が増えてきた。しかし、一般の公園のベンチや手すり等で練習をしており、近隣の住民からは騒音の問題、公園を利用している市民から「危ない」などの苦情もあがっている。中洲校区では、共研公園や上荒田の杜公園等がその対象となっている。</p> <p>共研公園でいえば、公園の一部にテニスコートがあるように現存する公園の一部を改修することで低予算で様々な問題を解決できるのではないか、と考えている。</p>	<p>⑦ スケートボードの練習環境については、既存の共研公園などについてはどうしても子供から高齢者まで幅広い世代の方々に利用いただけるよう整備しているため、特定の用途、特定の方々のための整備は難しいと考えている。現在たとえば中央公園、祇園之洲公園においては午後9時までと利用を制限している。</p> <p>スケートボードに関しては利用者の方々の中で、どうすれば自分たちの練習会場の確保と、周囲の利用者の方々との調和がとれるのか。そういったことを考える機会を持ってもらいたいと考えている。競技人口などを勘案しながら、今後検討を進めていきたいと思っている。</p>	観光交流局 建設局	<p>【観光交流局】 東京オリンピックでスケートボードが正式種目に採用され、10代の選手の活躍により、多数のメダルを獲得したことで、今後、競技人口の増加が期待される場所であり、本市としても、スポーツを通じたまちづくりを進めていく中で、施設の整備の必要性を含め、引き続き検討を進める。</p> <p>【建設局】 市長回答のとおり。</p>
8	NPO法人 心のバリア フリー仲間	<p>⑧ 放課後児童支援員の免許取得の講習のなかで「職員は準公務員的な扱いを受ける」との話があり、給与面等も説明を受ける。鹿児島市の補助金について以前市に確認してもらったところ、ほかの市、県と比べて非常に低かった。</p> <p>天文館で40人規模の児童クラブを設置するためには70㎡が必要であるが、一律の家賃補助では足りない。</p> <p>市として支援をしてもらえると、もう少し運営も質も高まるのではないか。児童クラブにも正規職員が配置され、責任ある保育ができる環境整備を子どもたちのためにしてあげたいと思っている。</p>	<p>⑧ 支援員の処遇については、市の単独ではなく、県・国の補助事業であったと思う。県・国の算定等を調査のうえ、ご報告したい。</p> <p>地域に応じた家賃については報告を受けたい。</p>	こども未来局	<p>【こども未来局】 国の補助基準や他都市の状況等を踏まえ、運営の質の向上や支援員の処遇改善、保護者軽減のため、補助制度の見直しについて、検討を行ってまいりたい。</p>

(別紙)発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	鹿児島女子短期大学観光研究サークル	<p>⑨ 学外活動の一環で、観光者の目線に立って実際に観光地を巡るという活動を行った。実際に仙巖園や桜島を訪れて、鹿児島の観光地には素晴らしいところがあるなど再確認したが、鹿児島に住んでいる若者が鹿児島の魅力に気づいていないと考えている。観光場所を宣伝するため、鹿児島の魅力を再認識するために、どのように観光を盛り上げていくと考えているか。</p>	<p>⑨ 観光というのは地域の魅力をいかにお金に換えていくかだと思っている。なかでも重要だと考えているのは体験系のプログラムである。この数年間はまずは鹿児島市民のみなさんに体験してもらいながら、意見を聞いて、より良い体験型の商品をつくっていき、インバウンドが復活した時には利用してもらおう。そのように取り組んでいく必要があると考えている。</p> <p>鹿児島市では、アクティビティや観光イベント、体験などをお試しで体験できるクーポン券を発行し、割安で体験していただきフィードバックをもらう。そしてブラッシュアップしてよりお金がとれるプログラムに仕上げていくということをやっているので、ご利用いただきたい。モニターツアーも実施しているのでさらなる充実をはかっていきたい。</p> <p>鹿児島に住んでいる我々が鹿児島の魅力を知ることが重要だと思う。今SNSの時代でもあるので楽しみながら発信していく、県外に出た人が周りの人に語ることで鹿児島のセールスマンになってもらう。そのためにはなんといっても鹿児島のアクティビティを体験してもらうことが重要であるので、ぜひいろいろ体験して鹿児島の魅力に触れていただきたいと思う。</p>	観光交流局	<p>【観光交流局】 市長回答のとおり。</p>

(別紙)発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	中洲校区 コミュニ ティ協議会	<p>⑩ 中洲校区においては、交通渋滞が激しくなっている。 主要道路のみならず、渋滞を避けようと裏道への車両の増加が顕著に表れている。みずほ通りなどは、一番早くに自転車専用道路を設置し環境に配慮した街づくりを推し進めてきた経緯がある。 今後の道路環境整備の在り方を市長はどのように考えているのか。 また、表道路だけではなく、渋滞を迂回する裏道路の交通量も調査対象に加えていただき、地域住民が安心して通行できる道路環境に活かしていただきたいと思うが、そのお考えをお尋ねする。</p>	<p>⑩ 東西幹線道路は鹿児島全体の渋滞を解消するために非常に重要な道路であり、私も東京に要望活動に行ってきたところである。一刻も早い完成に向けて、私も全力を尽くしていきたい。 ご指摘のとおり、しばらくの間この工事による渋滞、また渋滞回避のために裏道路や生活道路の利用が出てきていることも課題だと思っている。要望のあった渋滞を回避する手段として使用されている道路については、安心安全に利用できることが大切であるので、具体的にご指摘いただきましたら、交通量調査の対象に加え、必要な対応を検討していきたいと思う。</p>	建設局	<p>【建設局】 市長回答のとおり。 上荒田5号線及び国鉄車両管理所前線の交通量調査を今年度中に実施し、今後の交通推移を確認するとともに、必要に応じて交通安全対策を検討してまいりたい。</p>

(別紙)発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
11	NPO法人 心のバリア フリー仲間	<p>⑪ 中央駅とキャンセビルをつなぐ地下道を車いすの方などがよく利用される。あの地下道がもっと華やかで歩いていて楽しいところになってほしいと考えている。</p> <p>現在、市街地まちづくり推進課と一緒に地下道広告を提案している。また、もし可能であればマルシェなども開くことができれば、利用者がより多くなるのではないかと考えている。</p> <p>市長は地下道についてどうお考えかお聞きしたい。</p>	<p>⑪ まずは所有について確認したい。ご指摘があったことを踏まえ、私の方でも今後考えてみたいと思う。</p>	建設局	<p>【建設局】</p> <p>所有については、県道地下部分が鹿児島県、アミュプラザ接続部分がJR九州、駅前広場地下部分が鹿児島市の所有である。</p> <p>地下道広告については、3年12月の中央駅地下通路における民間広告社会実験の市民アンケートで、民間広告に対する市民の一定の理解が得られれば、まちづくり団体がまちづくり活動の財源を確保するため、同通路で広告事業を実施する準備を進めてまいりたい。</p> <p>なお、マルシェなどの開催については、東口駅前広場地下通路はイベント広場ではなく、歩行者専用通路であるため、利用が増えると交差する方々の円滑な通行に支障が出る恐れがある。また、人混みにより通行が停滞し将棋倒しなどの事故が発生する恐れもあることから、マルシェなど集客を目的とした催しを開くことはできないところである。</p>